



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

令和元年 11 月 8 日
記者発表資料

ALS 患者の高野元氏を共生社会アドバイザーに 委嘱します～分身ロボット「OriHime」を活用～

県は、県議会とともに「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定し、ともに生きる社会の実現を目指し取組みを進めています。

このたび、筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者である高野元（たかのはじめ）氏を共生社会アドバイザーに委嘱し、分身ロボット「OriHime」を活用したテレワークにより、共生社会の実現のための諸施策等に対する助言をいただくこととしましたので、委嘱状の交付式を実施します。

1 日時

令和元年 11 月 11 日（月曜日） 11 時 20 分から 11 時 35 分まで

2 場所

神奈川県庁本庁舎3階 第2応接室

3 内容

知事及び高野氏あいさつ、知事から高野氏へ委嘱状の交付

4 取材

取材等を希望される場合には、11 月8日（金曜日）17 時 15 分までに下記「問合せ先」へご連絡ください。

※ 高野氏プロフィール

昭和 40(1965)年生

平成2(1990)年3月 早稲田大学理工学部大学院修士課程卒業

平成2(1990)年4月～ NEC 中央研究所

〔 米国スタンフォード大学 コンピュータサイエンス学科
客員研究員として在籍 〕

平成 12(2000)年7月～ NEC BIGLOBE サービス事業部

平成 17(2005)年1月～ 株式会社デジタルフォレスト 技術担当役員

〔 数碼林(大连)软件有限公司 董事・総経理 〕

平成 23(2011)年7月～ 創発計画株式会社 代表取締役

平成 25(2013)年1月～ 筋萎縮性側索硬化症(ALS)発症

日本 ALS 協会 神奈川県支部 役員



© Hana Takemoto

※ 高野氏の業務内容等

- ・ 業務内容 共生社会実現のための諸施策 及び
課題を明確化するためのデータの活用・分析 に関する助言
- ・ 勤務形態 月2日程度 分身ロボットでの遠隔操作による在宅勤務

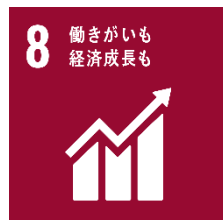
※ 分身ロボット「OriHime」について

カメラ・マイク・スピーカーが搭載されており、インターネットを通して操作できる。学校や会社、あるいは離れた実家など「移動の制約がなければ行きたい場所」に OriHime を置くことで、周囲を見回したり、聞こえてくる会話にリアクションをするなど、あたかも「その人がその場にいる」ようなコミュニケーションが可能となる。



《SDGs の推進について》

県では、SDGs の達成にもつながる取組として、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念の普及に取り組んでいます。



問合せ先

神奈川県福祉子どもみらい局共生社会推進課
課長 一柳 電話 045-2 8 5 - 0 7 36
共生グループ 青木 電話 045-210-4 9 6 1

ともに生きる 知子